

知識基盤社会を牽引する人材の育成と活躍の促進に向けて - 科学技術・学術審議会人材委員会 第四次提言(案) -

< 検討の視点 >

アカデミアのみならず産業界等も含めた社会の多様な場での活躍促進

- ・イノベーションに不可欠なチーム力の強化
- ・博士号取得者の社会の多様な場における活躍促進
- ・若手研究者のキャリアパスの明確化
- ・将来の科学技術を先導する人材の育成

< 検討の方向性 >

イノベーションにより社会を牽引する高度な研究者・技術者育成の抜本的強化

- ・産学が協働し、社会の多様な場で活躍できる牽引力あるリーダーを育成
- ・産業界や教育界など多様なキャリアパスを確立
- ・若手研究者の自立的な研究環境の整備を加速、若手ポストの拡充
- ・才能を見出し伸ばす取組の充実



第1章 知識基盤社会が求める科学技術関係の人材像

1. イノベーションの創造に不可欠なチーム力の向上

異分野、異文化と交わり、**産業界と連携した教育**を充実
産業界の人材を大学に招き、チーム力を強化する取組を推進

2. チーム力を強化する多様性の確保

大学における学生の**囲い込みの解消**、
自校出身者比率の抑制

3. リーダーとしての資質を備える高度人材の育成

産学が協働し、チーム力を最大化できる**リーダー**
を育成する取組を強化

第2章 社会の多様な場で活躍する科学技術関係人材の育成

1. 博士号取得者の社会の多様な場における活躍の促進

アカデミア向けの教育研究と技術経営的な内容等も行う産業界向けの教育研究を**柔軟に学べるカリキュラム**
生活費相当額を受給できる博士課程学生の割合について、**米国並みの4割を目標**
(フェローシップ、RA、TA等の拡充)
優秀な博士号取得者の産業界等への**多様なキャリアパス**を確立するための方策を推進
ポストドクターを雇用する際の労働条件や養成の在り方、ポストドクター期間についての基準作り

2. 大学教員等の人材育成に係る意識の改革

産学が協働した、教員と学生が共に参画する**課題解決型演習**の導入促進
機関を対象とする競争的資金の評価等において、人材育成の観点を考慮

3. グローバル化に対応した人材の育成・確保

海外派遣支援の充実、帰国後の活躍促進などのための環境作り
外国人招聘の支援拡大、大学等の事務体制強化、生活環境整備

4. 女性研究者の活躍の加速

採用や昇進の促進に向けたインセンティブ付与
指導的地位に占める女性研究者割合の数値目標を設定

第3章 若手研究者が自立して研究できる体制と場の整備

1. テンユア・トラック制の普及・定着

若手研究者が自立して研究に専念できる
テンユア・トラック制の普及・定着を図る大学を支援

テンユア・トラック教員の新規採用数の目標設定
(年間の自然科学系の新規採用教員のうち、
テンユア・トラック教員の割合について、例えば2割)

2. 若手研究者ポストの拡充

民間企業を参考にした人事制度の在り方の検討

基盤的経費及び総人件費等を確実に措置

第4章 次世代を担う人材の育成

1. 才能を見出し伸ばす取組の充実

優れた教育力を有する教員を養成・確保、大学や科学館等での研修による**教員の指導力向上**
科学技術系部活動への支援、科学コンテストへの支援、スーパーサイエンスハイスクールを拡充

2. 初等中等教育から研究者・技術者養成まで一貫した取組の推進

優れた研究者・技術者に接する場・機会を充実、大学や産業界と連携した**キャリア教育**の推進

時代の要請に合わせた技術士制度の在り方を検討、産学協働による実践的な
技術者教育の質向上